



平成21年4月27日

各 位

東京都千代田区平河町一丁目4番12号
株式会社ベルパーク
代表取締役社長 西川 猛
(JASDAQコード番号: 9441)
問合せ先
管理本部長 石川 洋
TEL 03-3288-5211

パナソニックテレコム株式会社の事業の一部譲受け及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成21年4月27日開催の取締役会において、平成21年6月1日をもってパナソニックテレコム株式会社の事業のうち、ソフトバンクの携帯電話販売代理店事業を譲り受けることを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。また、本件事業の譲受け等に伴い、平成21年2月12日付当社「平成20年12月期決算短信」にて公表した平成21年12月期の第2四半期累計期間及び通期の業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、あわせてお知らせいたします。

記

1. 事業譲受けの理由

リーマン・ブラザーズの破綻以降、日本経済は主力の輸出産業を中心に急速な悪化が続き、雇用情勢の悪化や個人消費の低迷等、経済全般に影響は広がり、当面の先行きについても予断を許さない状況が続いております。一方、携帯電話市場は、普及率の一層の高まりに加え、ナンバーポータビリティ導入後の通信事業者による2年契約を中心とした顧客囲い込みが進み、新規契約数の伸びは鈍化し、また買替サイクルが長期化しており、新規・買替を合わせた総販売台数も減少し、厳しい環境にあると言えます。このような環境の中で、当社はソフトバンク携帯電話の販売台数を拡大し、業績の向上を図るため、販売網の拡大が必要であると判断し、今般、パナソニックテレコム株式会社の運営するソフトバンクショップ直営22店舗、同フランチャイズ30店舗及び二次代理店への卸売事業を譲り受けることといたしました。

2. 事業譲受けの内容

(1) 譲受け部門の内容

ソフトバンクショップ直営22店舗、同フランチャイズ30店舗及び二次代理店への卸売り事業

(2) 譲受け部門の経営成績

	平成19年3月期	平成20年3月期
売上高	5,078百万円	5,972百万円

(3) 譲受け資産の項目及び金額

資産項目	金額
たな卸資産	213 百万円
建物・店舗設備・什器	86 百万円
敷金・保証金等	79 百万円
計	378 百万円

※たな卸資産の金額は、平成 21 年 3 月末日現在で記載しております。なお、負債は譲り受けません。

(4) 譲受け価額及び決済方法

譲受け価額：550 百万円

※上記価額は、平成 21 年 3 月末日現在のたな卸資産の金額により記載しておりますが、譲受け期日に確定し価額は調整されます。

決済方法：現金決済

3. パナソニックテレコム株式会社の概要

- (1) 商号 パナソニックテレコム株式会社
- (2) 主な事業内容 携帯電話販売代理店事業
- (3) 設立年月日 平成 14 年 1 月 21 日
- (4) 本店所在地 東京都港区芝浦 1 丁目 12 番 3 号
- (5) 代表者 代表取締役 佐藤 正人
- (6) 資本金の額 10 百万円
- (7) 従業員数 2,730 名（平成 21 年 3 月末日現在）
- (8) 大株主構成及び持株比率 パナソニックモバイルコミュニケーションズ株式会社 100%
- (9) 当社との関係 資本関係、人的関係及び取引関係はありません。

4. 日程

平成 21 年 4 月 27 日	取締役会
平成 21 年 4 月 27 日	事業譲渡契約締結
平成 21 年 6 月 1 日	事業譲受け期日

5. 会計処理の概要

本件事業の一部譲受けについては企業結合会計基準上の「取得」に該当する見込であります。この処理に伴うのれんの処理については、今後、検討の上決定してまいります。

6. 今後の見通し

平成 21 年 12 月期の業績見通しの変更につきましては、後記 7 のとおりであります。

7. 平成21年12月期業績予想の修正

(1) 第2四半期累計期間（平成21年1月1日～平成21年6月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 15,000	百万円 440	百万円 420	百万円 220	円 銭 3,645.58
今回修正予想 (B)	18,400	800	780	410	6,794.04
増減額 (B-A)	3,400	360	360	190	—
増 減 率	22.7%	81.8%	85.7%	86.4%	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成20年12月期第2四半期)	15,940	457	464	360	5,600.33

(2) 通期（平成21年1月1日～平成21年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 30,000	百万円 1,040	百万円 1,000	百万円 510	円 銭 8,451.12
今回修正予想 (B)	39,100	1,430	1,400	720	11,931.00
増減額 (B-A)	9,100	390	400	210	—
増 減 率	30.3%	37.5%	40.0%	41.2%	—
(ご参考) 前期実績 (平成20年12月期)	32,437	1,409	1,395	1,122	17,758.81

(3) 修正理由

①上記の事業譲受けに伴う修正

パナソニックテレコム株式会社の運営するソフトバンクショップ直営22店舗、同フランチャイズ30店舗及び二次代理店への卸売事業を譲り受けることに伴い、新規契約及び機種変更の販売数等が増加することから、第2四半期累計期間の売上高が800百万円、通期の売上高が5,600百万円それぞれ増加する見込みであります。一方、本社体制強化等の販売管理費が増加することを考慮し、営業利益、経常利益及び当期純利益は、当該事業の譲受けによって増減しない見込みであります。

②上記の事業譲受け以外の理由による修正

当社が主力として取り扱うソフトバンクは、新規加入について「ホワイト学割 with 家族」のサービスを開始し、また、米国アップル社製の「iPhone™3G」の新規契約の端末購入価格の値下げ及び同端末利用者のパケット通信料定額サービスの上限料金の引き下げを行う等の積極施策により、当初の予想よりもソフトバンクの新規販売需要が堅調に推移していること、並びにソフトバンクは平成22年3月末に第2世代携帯電話サービスの終了を予定している同サービス利用中のお客様に第3世代携帯電話サービスへの買い替え移行を促進し、機種変更需要が増加してきていることから、当社は新規契約及び機種変更の販売計画を上方修正いたしました。

この結果、第2四半期累計期間の売上高が18,400百万円、営業利益が800百万円、経常利益が780百万円、当期純利益が410百万円にそれぞれ増加する見込みであります。

また、同様の理由により、通期の売上高が 39,100 百万円、営業利益が 1,430 百万円、経常利益が 1,400 百万円、当期純利益が 720 百万円にそれぞれ増加し、営業利益、経常利益はほぼ前期レベルとなる見込みであります。

なお、当社は平成 21 年 12 月期より非連結の決算となりましたので、前期（第 2 四半期）実績は、個別業績の数値を記載しております。

※上記に記載した予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上